



System i

プログラミング

HTTP Server for i5/OS コマンド

バージョン 6 リリース 1





System i

プログラミング

HTTP Server for i5/OS コマンド

バージョン 6 リリース 1

ご注意

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、41 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM HTTP Server for i5/OS (プロダクト番号 5761-DG1) のバージョン 6、リリース 1、モディフィケーション 0 に適用されます。また、改訂版で断りがない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CISC モデルでは稼働しません。

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System i
Programming
HTTP Server for i5/OS commands
Version 6 Release 1

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2008.2

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2008. All rights reserved.

目次

HTTP検索の構成 (CFGHTTPSCH)	1	HTTPクローラーの再開 (RSMHTTPCRL)	31
TCP/IP HTTPの構成 (CFGTCPHTTP)	21	HTTPクローラーの開始 (STRHTTPCRL)	33
HTTP属性の変更 (CHGHTTPA).	23	付録. 特記事項.	41
HTTPクローラーの終了 (ENDHTTPCRL)	29		

HTTP検索の構成 (CFGHTTPSCH)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

構成検索(CFGHTTPSCH)コマンドによって、索引、文書リスト、URLマッピング・ルール・ファイル、またはシソーラスの処理に加え、WEBのクロールに使用するオブジェクトの作成を含む、各種検索管理タスクを実行できます。

索引を作成し、文書を索引に追加し、文書を索引から除去し、索引を削除し、文書リストを作成、更新、または削除し、マッピング・ルール・ファイルを作成または更新することができます。

索引を作成し、文書を追加するか索引から除去するには、文書リストを指定する必要があります。文書リストを作成するには、**オプション(OPTION)**パラメーターに*CRTDOCLを指定してください。

索引を作成するには、OPTIONパラメーターに*CRTIDXを指定してください。

文書リストを作成するには、OPTIONパラメーターに*CRTDOCLを指定してください。この文書リストは、索引を作成(*CRTIDX)するか、あるいは更新(*ADDDOCまたは*RMVDOC)するときを使用することができます。

追加文書パスを文書リストに付加するには、OPTIONパラメーターに*UPDDOCLを使用してください。この文書リストは、索引を作成(*CRTIDX)するか、あるいは更新(*ADDDOCまたは*RMVDOC)するときを使用することができます。

索引に文書を追加するには、OPTIONパラメーターに*ADDDOCを指定してください。文書リスト中の新規または変更済みのすべての文書が索引に追加されます。

文書を索引から除去するには、OPTIONパラメーターに*RMVDOCを指定してください。

文書リストを削除するには、OPTIONパラメーターに*DLTDOCLを指定してください。

索引を削除するには、OPTIONパラメーターに*DLTIDXを指定してください。

マッピング・ルール・ファイルを作成するには、OPTIONパラメーターに*CRTMAPFを指定してください。

追加構成ディレクティブをマッピング・ルール・ファイルに追加するには、OPTIONパラメーターに*UPDMAPFを指定してください。

検索時に使用できるシソーラス・ディクショナリーを作成するには、*CRTTHSDCTをOPTIONパラメーターに指定してください。

シソーラス・ディクショナリーを削除するには、*DLTTHSDCTをOPTIONパラメーターに指定してください。

シソーラス定義ファイルをシソーラス・ディクショナリーから検索するには、*RTVTHSDFNFをOPTIONパラメーターに指定してください。

OPTIONSの次の設定は、リモートWEBサイトのクロール時に使用されるオブジェクトを処理するために使用されます。

クロールするURLのリストが入っているURLオブジェクトを作成するには、*CRTURLOBJをOPTIONパラメーターに指定してください。

URLオブジェクトを更新するには、*UPDURLOBJをOPTIONパラメーターに指定してください。

URLオブジェクトを削除するには、*DLTURLOBJをOPTIONパラメーターに指定してください。

URLオブジェクトを作成するには、*CRTOPTOBJをOPTIONパラメーターに指定してください。

オプション・オブジェクトを更新するには、*UPDOPTOBJをOPTIONパラメーターに指定してください。

オプション・オブジェクトを削除するには、*DLTOPTOBJをOPTIONパラメーターに指定してください。

索引の状況を印刷するには、*PRTIDXSTSをOPTIONパラメーターに指定してください。

文書リストの状況を印刷するには、*PRTDOCLSTSをOPTIONパラメーターに指定してください。

制約事項

- このコマンドを使用するには入出力システム構成(*IOSYSCFG)特殊権限が必要です。

上

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
OPTION	オプション	*CRTIDX, *MRGIDX, *DLTIDX, *ADDDOC, *RMVDOC, *CRTDOCL, *UPDDOCL, *REGDOCL, *DLTDOCL, *CRTMAPF, *UPDMAPF, *CRTTHSDCT, *DLTHSDCT, *RTVTHSDFNF, *CRTURLOBJ, *UPDURLOBJ, *DLTURLOBJ, *CRTOPTOBJ, *UPDOPTOBJ, *DLTOPTOBJ, *CRTVLDL, *ADDVLDLDTA, *RMVVLDLDTA, *DLTVLDL, *PRTIDXSTS, *PRTDOCLSTS	必須, 定位置 1
IDX	索引名	文字値	オプション
IDXDIR	索引ディレクトリー	パス名, <u>'/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX'</u>	オプション
TEXT	索引記述	文字値, <u>*BLANK</u>	オプション
DOCLIST	文書リスト・ファイル	パス名	オプション
STRDIR	開始ディレクトリー	パス名	オプション
SUBTREE	検索ディレクトリー	<u>*ALL</u> , *NONE	オプション
PATTERN	フィルター	文字値, <u>*.HTM*</u>	オプション
CONTENT	文書内容	<u>*HTML</u> , *TEXT	オプション
ALWERR	ファイル・エラーを許可	<u>*YES</u> , *NO	オプション
ENBCASE	大・小文字区別検索使用可能化	<u>*YES</u> , *NO	オプション

キーワード	記述	選択項目	ノート
ALWCHAR	有効文字	*ALPHANUM, *ALPHA	オプション
IDXHTML	索引HTMLフィールド	単一値: *NONE その他の値 (最大 5 回の繰り返し): *TITLE, *AUTHOR, *ABSTRACT, *DESCRIPTION, *KEYWORDS, *ALLMETA	オプション
CFG	HTTPサーバー	名前	オプション
URLPFX	URLの接頭部	文字値, *NONE	オプション
MAPFILE	マッピング・ルール・ファイル	パス名	オプション
DLTTYPE	削除タイプ	*ALL, *SUPP	オプション
THSDCT	シソーラス・ディクショナリー名	文字値	オプション
THSDCTDIR	シソーラス・ディレクトリー	パス名, '/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/SEARCH'	オプション
THSDFNF	シソーラス定義ファイル	パス名	オプション
URLOBJ	URLオブジェクト	文字値	オプション
DOCDIR	文書記憶域ディレクトリー	パス名	オプション
LANG	文書の言語	*ARABIC, *BALTIC, *CENTEUROPE, *CYRILLIC, *ESTONIAN, *GREEK, *HEBREW, *JAPANESE, *KOREAN, *SIMPCHINESE, *TRADCHINESE, *THAI, *TURKISH, *WESTERN	オプション
URLACT	URLリスト処置	*NONE, *ADD, *REMOVE	オプション
URLLST	URLリスト項目	値 (最大 100 回の繰り返し): 要素リスト	オプション
	要素 1: URL	文字値	
	要素 2: URLフィルター	文字値, *NONE	
	要素 3: 最大クロールの深さ	0-100, <u>3</u> , *NOMAX	
RMVURLLST	URLリスト項目の除去	値 (最大 100 回の繰り返し): 要素リスト	オプション
	要素 1: URL	文字値	
OPTOBJ	オプション・オブジェクト	文字値	オプション
PRXSVR	HTTPのプロキシ・サーバー	文字値, *NONE, *SAME	オプション
PRXPORT	HTTPのプロキシ・ポート	1-65535, *SAME	オプション
PRXSVRSSL	HTTPSのプロキシ・サーバー	文字値, *NONE, *SAME	オプション
PRXPORTSSL	HTTPSのプロキシ・ポート	1-65535, *SAME	オプション
MAXSIZE	最大ファイル・サイズ	1-6000, <u>1000</u> , *SAME	オプション
MAXSTGSIZE	最大ストレージ・サイズ	1-65535, <u>100</u> , *NOMAX, *SAME	オプション
MAXTHD	最大スレッド数	1-50, <u>20</u> , *SAME	オプション
MAXRUNTIME	最大実行時間	単一値: *NOMAX, *SAME その他の値: 要素リスト	オプション
	要素 1: 時間	0-1000, <u>2</u>	
	要素 2: 分	0-59, <u>0</u>	
LOGFILE	ログ・ファイル	パス名, *NONE, *SAME	オプション
CLRLOG	ログ・ファイルの消去	*YES, *NO, *SAME	オプション

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
LSTTYPE	文書リストのタイプ	*LOCAL, *REMOTE	オプション
VLDL	妥当性検査リスト	名前	オプション
VLDLE	妥当性検査リスト項目	値 (最大 100 回の繰り返し): 要素リスト	オプション
	要素 1: URL	文字値	
	要素 2: ユーザーID	文字値	
	要素 3: パスワード	文字値	
RMVLDLE	妥当性検査リスト項目の除去	値 (最大 100 回の繰り返し): 要素リスト	オプション
	要素 1: URL	文字値	

上

オプション (OPTION)

実行する管理用タスクを指定します。

これは必須パラメーターです。

*CRTIDX

索引を作成します。

*MRGIDX

文書の追加後に索引を組み合わせます。

*DLTIDX

索引を削除します。

*ADDDOC

文書を索引に追加します。

*RMVDOC

文書を索引から除去します。

*CRTDOCL

文書リストを作成します。ファイルがすでに存在している場合には、それが置き換えられます。

*UPDDOCL

追加文書パスを文書リストに付加します。

*DLTDOCL

文書リストを削除します。

*CRTMAPF

マッピング・ルール・ファイルを作成します。ファイルがすでに存在している場合には、それが置き換えられます。

*UPDMAPF

追加構成ディレクティブをマッピング・ルール・ファイルに付加します。

*CRTTHSDCT

シソーラス・ディクショナリーを作成します。

***RTVTHSDFNF**

シソーラス定義ファイルをシソーラス・ディクショナリーから検索します。

***DLTTHSDCT**

シソーラス・ディクショナリーを削除します。

***CRTURLOBJ**

リモートWEBサイトのクロール時に使用するURLオブジェクトを作成します。

***UPDURLOBJ**

リモートWEBサイトのクロール時に使用するURLオブジェクトを更新します。

***DLTURLOBJ**

URLオブジェクトを削除します。

***CRTOPTOBJ**

リモートWEBサイトのクロール時に使用するオプション・オブジェクトを作成します。

***UPDOPTOBJ**

リモートWEBサイトのクロール時に使用するオプション・オブジェクトを更新します。

***DLTOPTOBJ**

オプション・オブジェクトを削除します。

***CRTVLDL**

リモートWEBサイトのクロール時に使用する妥当性検査リスト・オブジェクトを作成します。

***ADDVLDLDTA**

項目を妥当性検査リスト・オブジェクトに追加します。

***RMVLDLDTA**

項目を妥当性検査リスト・オブジェクトから除去します。

***DLTVLDL**

妥当性検査リスト・オブジェクトを削除します。

***PRTIDXSTS**

索引の状況を印刷します。

***PRTDOCLSTS**

文書リストの状況を印刷します。

上

索引名 (IDX)

作成または更新する索引を指定します。

名前 索引の名前を指定します。

上

索引ディレクトリー (IDXDIR)

索引管理中に作成される複数のファイルに使用される索引ディレクトリーを指定します。

'/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX'

このディレクトリーが索引ディレクトリー用に使用されます。

パス名 索引ディレクトリーのパス名を指定します。

上

索引記述 (TEXT)

索引を説明するテキストを指定します。

*BLANK

テキストを指定しません。

文字値 テキスト記述をアポストロフィで囲んで指定してください。

上

文書リスト・ファイル (DOCLIST)

索引付けする文書のリストを含む文書リスト・ファイルを指定します。

パス名 文書リスト・ファイルのパス名を指定します。

上

開始ディレクトリー (STRDIR)

文書リストに追加する文書を検索するために使用する開始ディレクトリーを指定します。

パス名 索引付けする文書の検索に使用するディレクトリーのパス名を指定します。

上

検索ディレクトリー (SUBTREE)

文書リスト・ファイルの構築時に開始ディレクトリーのサブディレクトリーを対象にするかどうかを指定します。

***ALL** サブディレクトリーを対象にします。

***NONE**

サブディレクトリーを対象にしません。

上

フィルター (PATTERN)

文書リストの構築時に使用するパターンまたはフィルターを指定します。HTML ファイルを検索するには、フィルター*.HTM*を使用してください。

.HTM

このフィルターは、拡張子が.HTMまたは.HTMLのファイルを検索します。

文字値 文書リストに追加するファイルの選択に使用するパターンまたはフィルターを指定します。

上

文書内容 (CONTENT)

索引付けする文書の内容を指定します。

***HTML**

文書はHTMLです。すべてのHTMLタグは、索引付け中に除去されます。IDXHTMLパラメーターも参照してください。

***TEXT**

文書にはテキストが入ります。

上

ファイル・エラーを許可 (ALWERR)

文書ファイル・エラーをスキップして、要求の処理を続行するか、あるいは文書ファイル・エラーで処理を停止するかを指定します。

***YES** ファイル・エラーを許可して処理を続行します。

***NO** ファイル・エラーを許可しません。文書の索引付けは停止します。

上

大・小文字区別検索使用可能化 (ENBCASE)

この索引に大文字小文字を区別する検索が使用できるかどうかを指定します。

***YES** 大文字小文字を区別する検索が使用できます。

***NO** 大文字小文字を区別しない検索のみ使用できます。

上

有効文字 (ALWCHAR)

この索引での検索に有効な文字を指定します。

***ALPHANUM**

英数字が有効です。

***ALPHA**

英字しか有効ではありません。

上

索引HTMLフィールド (IDXHTML)

索引付けする追加文字ストリングを検索するために使用されるHTMLタグを指定します。*NONEが選択されると、索引付け前に、すべてのHTMLタグが文書から除去されます。すべての検索が文書全体で実行されます。

選択されるすべてのタグ・フィールドが個々に索引付けされて、文書全体の索引付けにも組み込まれます。タグ付きフィールドまたは文書全体を検索のために選択することができます。

CONTENT(*HTML)も指定されていない限り、このパラメーターは無視されます。

単一値

*NONE

文書のHTMLタグ以外のすべてが索引付けされます。

他の値 (最大5回の反復)

*TITLE

表題フィールドを索引付けします。

*ABSTRACT

METAタグNAME="ABSTRACT"を索引付けします。

*AUTHOR

METAタグNAME="AUTHOR"を索引付けします。

*DESCRIPTION

METAタグNAME="DESCRIPTION"を索引付けします。

*KEYWORDS

METAタグNAME="KEYWORDS"を索引付けします。

*ALLMETA

NAME="XXXX"が指定されたすべてのMETAタグを索引付けします。

上

HTTPサーバー (CFG)

経路指定ディレクティブが入っているHTTPサーバーを指定します。適切なディレクティブがURLマッピング・ルール・ファイルに追加されて、検索結果に応じて表示されるURLを定義するためにURL接頭部とともに使用されます。

名前 使用する構成が入っているHTTPサーバーの名前を指定します。

上

URLの接頭部 (URLPFX)

検索で見つかった文書のURLに使用する接頭部を指定します。

*NONE

URL接頭部を使用しません。

文字値 'HTTP://WWW.MYSYS.COM'などのURLに使用する接頭部を指定します。

マッピング・ルール・ファイル (MAPFILE)

検索時に見つかった文書のURLを作成するために使用する経路指定情報が入っているマッピング・ルール・ファイルの名前を指定します。

パス名 マッピング・ルール・ファイルのパス名を指定します。

削除タイプ (DLTTYPE)

索引のすべてを削除するか、あるいは補足索引のみを削除するかを指定します。補足索引は、新規文書または変更済み文書を索引に追加するときに一時的に作成されます。

***ALL** メイン索引および補足索引を削除します。

***SUPP** 補足索引のみを削除します。

シソーラス・ディクショナリー名 (THSDCT)

検索時に使用できるシソーラス・ディクショナリーを指定します。

文字値 シソーラス・ディクショナリーの名前を指定します。

シソーラス・ディレクトリー (THSDCTDIR)

シソーラス・ディクショナリーに使用するディレクトリーを指定します。検索索引用に使用されないディレクトリーを指定してください。

'/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/SEARCH'

ディレクトリー・パス/QIBM/USERDATA/HTTPSVRを使用して位置指定されたディレクトリーSEARCHが使用されます。

パス名 シソーラス・ディクショナリーのディレクトリー・パス名を指定します。

シソーラス定義ファイル (THSDFNF)

シソーラス・ディクショナリーを作成するために使用するシソーラス定義ファイルを指定します。

パス名 シソーラス定義ファイルのパス名を指定します。

URLオブジェクト (URLOBJ)

WEBのクローリングに使用するURLオブジェクトを指定します。このパラメーターは、*CRTURLOBJまたは*UPDURLOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。このオブジェクトにはクローリングしたいURLのリストが含まれています。

文字値 URLオブジェクトの名前を指定してください。

上

文書記憶域ディレクトリー (DOCDIR)

リモートWEBサイトのクローリング時に見つかった文書を保管するために使用するディレクトリーを指定します。このパラメーターは、*CRTURLOBJまたは*UPDURLOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

パス名 ダウンロードした文書を保管するためのディレクトリーのパス名を指定します。

上

文書の言語 (LANG)

ダウンロードする文書の言語を指定します。これらの言語選択は、ブラウザで選択できる文字セットまたはエンコードに似ています。このパラメーターは、*CRTURLOBJまたは*UPDURLOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

*ARABIC

文書はアラビア語になっています。

*BALTIC

文書はバルト語（ラトビア語またはリトアニア語など）になっています。

*CENTEUROPE

文書は中央ヨーロッパ言語（チェコ語、ハンガリー語、ポーランド語、スロバキア語、またはスロベニア語など）になっています。

*CYRLLIC

文書はキリル文字言語（ロシア語、ウクライナ語、またはマケドニア語など）になっています。

*ESTONIAN

文書はエストニア語になっています。

*GREEK

文書はギリシャ語になっています。

*HEBREW

文書はヘブライ語になっています。

*JAPANESE

文書は日本語になっています。

*KOREAN

文書は韓国語になっています。

*SIMPCHINESE

文書は中国語（簡体字）になっています。

***TRADCHINESE**

文書は中国語（繁体字）になっています。

***THAI**

文書はタイ語になっています。

***TURKISH**

文書はトルコ語になっています。

***WESTERN**

文書は西ヨーロッパ言語（英語、フランス語、スペイン語、またはドイツ語など）になっています。

上

URLリスト処置 (URLACT)

指定したURLオブジェクトのためにURLリストに対して行う処置を指定します。このパラメーターは、*UPDURLOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

***NONE**

URLリストを変更しません。

***ADD** 指定したURLをURLオブジェクトに追加します。

***REMOVE**

指定したURLをURLオブジェクトから除去します。

上

URLリスト項目 (URLLST)

このパラメーターは、*CRTURLOBJがOPTIONパラメーターに指定されているか、あるいは*UPDURLOBJがOPTIONパラメーターに指定されていて、URLACTが*ADDであるときに使用します。これには、クローリングセッションで使用されるURLおよびURL属性のリストを指定します。

- URLはUNIVERSAL RESOURCE LOCATORのことで、ここでクローリングが開始されます。
- URLフィルターはクローリングを指定したドメインに制限します。
- 最大のクローリングの深さはオリジナルURLから検出されるリンクの距離です。深さ0は、クローリングを開始URLに制限するという意味です。深さ3は、クローリングが開始URLから3レベルのリンクまで続行されるという意味です。
- 「ロボットを使用可能にする」は、クローリングがロボット除外をサポートするかどうかを示します。ロボット除外をサポートするように選択した場合には、ロボット除外METAタグまたはファイルが含まれているサイトまたはページはダウンロードされません。

このパラメーターには100個の値を指定できます。

要素1: URL

文字値 開始URLを指定してください。

要素2: URLフィルター

*NONE

URLドメイン・フィルターを使用しません。

文字値 'IBM.COM'などのURLドメイン・フィルターをスラッシュまたはコロンなしで指定してください。

要素3: 最大クロールの深さ

開始URLからクロールする最大の深さ。ゼロは開始URLサイトでクロールを停止するという意味です。各追加レイヤーは現行URL内で次に参照するリンクを指しています。

3 参照するリンクは3層の深さでクロールされます。

*NOMAX

参照するリンクは深さに関係なくクロールされます。

0-100 最大のクロールの深さを指定してください。

要素4: 使用可能ロボット

*YES ロボット除外をサポートします。

*NO ロボット除外をサポートしません。

上

URLリスト項目の除去 (RMVURLST)

URLオブジェクトから除去するURLのリストを指定します。このパラメーターは、*UPDURLOBJがOPTIONパラメーターに指定されていて、URLACTが*REMOVEであるときに使用します。URLリストから除去するURLを最大100個まで入力してください。

文字値 除去するURLを指定してください。

上

オプション・オブジェクト (OPTOBJ)

クロールに使用するオプション・オブジェクトを指定します。オプション・オブジェクトにはクロール・セッション属性が入ります。このパラメーターは、*CRTOPTOBJ、*UPDOPTOBJ、または*DLTOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

文字値 使用するオプション・オブジェクトの名前を指定します。

上

HTTPのプロキシ・サーバー (PRXSVR)

使用するHTTPプロキシ・サーバーを指定します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

*NONE

HTTPプロキシ・サーバーを使用しません。

***SAME**

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じHTTPプロキシ・サーバーを使用したい場合に使用します。

文字値 HTTPプロキシ・サーバーの名前を指定します。

上

HTTPのプロキシ・ポート (PRXPORT)

HTTPプロキシ・サーバー・ポートを指定します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。プロキシ・サーバー・ポートが必須なのは、プロキシ・サーバーも指定されている場合です。

***SAME**

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じHTTPプロキシ・サーバー・ポートを使用したい場合に使用します。

I-65535

HTTPプロキシ・サーバー・ポートの番号を指定します。

上

HTTPSのプロキシ・サーバー (PRXSVRSSL)

SSLサポートを使用するためのHTTPSプロキシ・サーバーを指定します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

***NONE**

HTTPSプロキシ・サーバーを使用しません。

***SAME**

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じHTTPSプロキシ・サーバーを使用したい場合に使用します。

文字値 SSLサポート用のHTTPSプロキシ・サーバーの名前を指定します。

上

HTTPSのプロキシ・ポート (PRXPORTSSL)

SSLサポート用のHTTPSプロキシ・サーバー・ポートを指定します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。HTTPSプロキシ・サーバー・ポートが必須なのは、HTTPSプロキシ・サーバーも指定されている場合です。

***SAME**

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じHTTPSプロキシ・サーバー・ポートを使用したい場合に使用します。

I-65535

SSLサポート用のHTTPSプロキシ・サーバー・ポートの番号を指定します。

上

最大ファイル・サイズ (MAXSIZE)

ダウンロードするファイルの最大サイズをキロバイトで指定します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJ または*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

1000 1000 Kバイト以下のダウンロード・ファイル。

*NOMAX

サイズにかかわらずすべてのファイルがダウンロードされます。

*SAME

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じ最大ファイル・サイズを使用したい場合に使用します。

I-6000.

ダウンロードする最大ファイル・サイズをKバイトで指定してください。

上

最大ストレージ・サイズ (MAXSTGSIZE)

ダウンロード・ファイル用に割り振る最大記憶域サイズをメガバイトで指定します。クローラは、この限界に達すると終了します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

100 100メガバイトまでの記憶域がダウンロード・ファイル用に使用されます。

*NOMAX

ダウンロード・ファイル用の最大記憶域サイズはありません。

*SAME

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じ最大記憶域サイズを使用したい場合に使用します。

I-65535.

ダウンロード・ファイル用の最大記憶域サイズをメガバイトで指定してください。

上

最大スレッド数 (MAXTHD)

WEBサイトをクローラするために開始するスレッドの最大数を指定します。この値は、使用可能なシステム資源に基づいて設定してください。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

20 WEBクローラ用に20個までのスレッドを開始します。

*SAME

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じ最大スレッド数を使用したい場合に使用します。

I-50. 開始するスレッドの最大数を指定してください。

上

最大実行時間 (MAXRUNTIME)

クロールを実行する最大時間（時間数および分数）を指定します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

単一値

*NOMAX

クロール・セッションが正常に完了するか、あるいはENDHTTPCRL (HTTPクローラー終了) コマンドによって終了されるまでクロール・セッションを実行します。

*SAME

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じ最大実行時間数と分数を使用したい場合に使用します。

要素1: 時間

2 クロール・セッションを2時間プラス指定した分数だけ実行します。

0-1000.

クロール・セッションを実行する時間数を指定してください。

要素2: 分

0 クロール・セッションを指定した時間だけ実行します。

0-59. クロール・セッションを実行する分数を指定してください。クロール・セッションは、このパラメーターの第1要素に指定した時間数プラス指定した分数だけ実行されます。

上

ログ・ファイル (LOGFILE)

使用する活動記録ログ・ファイルを指定します。このファイルには、クロール・セッションに関する情報と、発生したエラーの情報が入ります。このファイルはディレクトリー中に存在していなければなりません。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

*NONE

活動記録ログ・ファイルを使用しません。

*SAME

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じログ・ファイルを使用したい場合に使用します。

パス名 ログ・ファイルのパス名を指定します。

上

ログ・ファイルの消去 (CLRLOG)

クロール・セッションの開始前に、活動記録ログ・ファイルを消去するかどうかを指定します。このパラメーターは、*CRTOPTOBJまたは*UPDOPTOBJがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

*YES クロール・セッションの開始前に、活動記録ログ・ファイルを常に消去します。

***SAME**

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、ログ・ファイルをクリアする際に同じ値をしたい場合に使用します。

***NO** 活動記録ログ・ファイルを消去しません。

上

文書リストのタイプ (LSTTYPE)

登録する文書リスト・ファイルにこのシステム上のファイルのパスが入っているか、あるいはWEBクローラ機能を使用してこのシステムにダウンロードしたりリモートWEBサイト上のファイルのパスが入っているかを指定します。このパラメーターは、*REGDOCLがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

***LOCAL**

文書リスト中の文書はこのシステム上にあります。

***REMOTE**

文書リスト中の文書はリモート・システム上にあります。

上

妥当性検査リスト (VLDL)

SSLセッション用に使用する妥当性検査リストの名前を指定します。妥当性検査リストには、URL、ユーザーID、およびパスワードが入ります。妥当性検査リスト・オブジェクトはサインオン・ユーザーによって所有され、共通使用を除外します。このパラメーターは、*CRTVLDL、*ADDVLDLDTA、*RMVLDLDTA、または*DLTVLDLがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

制約事項:パスワードは妥当性検査リスト・オブジェクトに暗号化された形式で保管されることとなります。認証のためにパスワードを保管して暗号化解除するためには、妥当性検査リストの作成前にシステム値QRETSVRSEC（サーバー機密保護の保存）が1に設定されていなければなりません。妥当性検査リストが存在しているのに、このシステム値を1から0に変更すると、暗号化されたパスワードが除去されて、認証は失敗します。この場合には、システム値を1にリセットし、妥当性検査リストを削除して、作成し直す必要があります。

名前 妥当性検査リストの名前を指定してください。妥当性検査リストはライブラリーQUSRSYSの中にQZHAXXXXXXという名前で作成されます。ここで、XXXXXXは入力された名前です。

上

妥当性検査リスト項目 (VLDLE)

SSLセッションのために使用するURL、ユーザーID、およびパスワードのリストを指定してください。ユーザーIDとパスワードのペアは、指定したURLと、同一ドメイン内をクロール中に見つかった他のすべてのURLのために使用されます。このパラメーターは、*CRTVLDLまたは*ADDVLDLDTAがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。各妥当性検査リスト項目に入るのは、次の通りです。

- 認証を必要とするURL
- ユーザーID

- パスワード

最大100個の項目を妥当性検査リストに追加できます。このパラメーターは、*CRTVLDLまたは*ADDVLDLDTAがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

要素1: URL

文字値 URL (UNIVERSAL RESOURCE LOCATOR)を指定します。

要素2: ユーザーID

文字値 有効なユーザーIDを指定します。

要素3: パスワード

文字値 ユーザーIDのパスワードを指定してください。

上

妥当性検査リスト項目の除去 (RMVLDLE)

既存の妥当性検査リストから除去するURLのリストを指定します。最大100個の項目を妥当性検査リストから除去できます。このパラメーターは、*RMVLDLDTAがOPTIONパラメーターに指定されているときに使用します。

文字値 妥当性検査リスト中に関連した項目があるURL (UNIVERSAL RESOURCE LOCATOR)を指定します。

上

例

例1:文書リストの作成

```
CFGHTTPSCH OPTION(*CRTDOCL)
DOCLIST('/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.DOCUMENT.LIST')
STRDIR('/QIBM/PRODDATA/HTTP/PUBLIC/HTTPSVR/HTML')
```

この例は、省略時の値SUBTREE(*ALL) PATTERN(*.HTM*)を使用して、ディレクトリー/QIBM/PRODDATA/HTTP/PUBLIC/HTTPSVR/HTMLから、/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.DOCUMENT.LISTという文書リストを作成することになります。サブディレクトリーが検索され、パターン*.HTMを含むファイルだけがリストに入れられることになります。

例2:索引の作成

```
CFGHTTPSCH OPTION(*CRTIDX) IDX(MYINDEX)
DOCLIST('/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.DOCUMENT.LIST')
IDXHTML(*ABSTRACT)
```

この例は、索引ディレクトリー/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEXにMYINDEXという索引を作成することになります。文書リストはファイル/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.DOCUMENT.LISTに入っています。

この例では、次のことが定義されています。

- 省略時の値によって文書はHTML文書です。

- 文書でファイルのエラーが見つかってでも無視されます。
- 検索は大文字小文字が区別されます。
- 英数字は有効な検索文字です。
- "ABSTRACT"のついた METAタグは、別個に索引づけられることとなります。
- 文書の索引付けでは、METAタグに続く文字ストリングも含まれることとなります。
- 検索は、文書全体のMETAタグ・フィールドに対して可能となります。

例3:マッピング・ルール・ファイルの作成

```
CFGHTTPSCH OPTION(*CRTMAPF) CFG('MYCFG')
  URLPFX('HTTP://WWW.MYSERVER.COM')
  MAPFILE(/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.MAP_FILE)
```

この例は、'/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.MAP_FILE'というマッピング・ファイルを作成することとなります。URL接頭部'HTTP://WWW.MYSERVER.COM'プラスMYCFG構成からのすべてのPASSディレクティブがマッピング・ルール・ファイルにコピーされることとなります。検索で文書が見つかると、URLPFXの後に、実際のファイル・パスとPASSディレクティブから判別されたパスが続くこととなります。

文書が物理的に/ROOT/CLOTHING/DOC1.HTMにあって、構成ファイルにPASS /CLOTHING/*/ROOT/CLOTHING/*ディレクティブがある場合には、検索結果の文書のURLはHTTP://WWW.MYSERVER.COM/CLOTHING/DOC1.HTMとなります。

上

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

HTP1603

文書を追加または削除する要求が不完全でした。理由は、&1です。

HTP1608

索引を作成する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP1609

文書を追加するか索引から削除する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP160A

索引を組み合わせる要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP160B

索引を削除する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP160C

文書リストに作成または付加する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP160D

文書リストを削除する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP160E

マッピング・ルール・ファイルに作成または付加する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP160F

CHGHTTPSCHコマンドを使用するためには*IOSYSCFG特殊権限が必要です。

HTP1621

索引を作成する要求が不完全でした。理由は、&1です。

HTP1623

シソーラス・ディクショナリーの作成要求が失敗した。理由は、&1です。

HTP1624

シソーラス・ディクショナリーの削除要求が失敗した。理由は、&1です。

HTP1625

定義ファイルの検索要求が失敗した。理由は、&1です。

HTP164B

妥当性検査リストの作成要求が失敗した。理由は、&1です。

HTP164C

妥当性検査リストに項目を追加または除去する要求が失敗した。理由は、&1です。

HTP164D

妥当性検査リストの削除要求が失敗した。理由は、&1です。

HTP164F

オプション・オブジェクトを作成または更新する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP165A

オプション・オブジェクトを削除する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP165B

URLオブジェクトを作成または更新する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP165C

URLオブジェクトを削除する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP165F

文書リストの登録要求が失敗した。理由は、&1です。

HTP1666

妥当性検査リストを作成する要求が不完全でした。理由は、&1です。

HTP1668

妥当性検査リストの項目を追加または除去する要求が不完全でした。理由は、&1です。

HTP1669

URLオブジェクトを作成または更新する要求が不完全でした。理由は、&1です。

HTP166C

文書リストを作成または更新する要求が不完全でした。理由は、&1です。

HTP166D

索引の状況を印刷する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP166E

文書リストの状況を印刷する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP1674

索引ディレクトリー&4内の索引&3の状況を印刷する要求が完了しませんでした。理由は、&1です。

HTP1675

文書リスト&3の状況を印刷する要求が完了しませんでした。理由は、&1です。

TCP/IP HTTPの構成 (CFGTCPHTTP)

実行可能場所: 対話環境 (*INTERACT *IPGM *IREXX *EXEC)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

TCP/IP HTTPの構成(CFGTCPHTTP)コマンドは、WORLD WIDE WEBハイパーテキスト転送プロトコル(HTTP)サーバー構成を定義または変更できるメニューを表示します。(このサーバーは、IBM HTTPサーバーとしても知られています)。

このコマンドにはパラメーターはありません。

上

パラメーター

なし

上

例

CFGTCPHTTP

このコマンドは、TCP/IP HTTP構成メニューを表示します。

上

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

TCP8050

&1を使用するには*IOSYSCFG権限が必要である。

上

HTTP属性の変更 (CHGHTTPA)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

HTTP属性変更(CHGHTTPA)コマンドは、構成可能なWORLD WIDE WEBハイパーテキスト転送プロトコル(HTTP)のサーバー属性を変更するために使用されます。(このサーバーは、IBM HTTPサーバーとしても知られています)。

このコマンドを使用してHTTP属性を変更すると、変更はすべてのHTTPサーバーおよびHTTPサーバー・インスタンスに適用されますが、次の例外があります。

- 構成書式および管理書式で特定の識別情報に指定された値は、CHGHTTPAコマンドで指定された値よりも優先されます。「構成および管理」フォームの使用法について詳しくは、HTTP WEBサイト ([HTTP://WWW.IBM.COM/ESERVER/ISERIES/HTTP](http://www.ibm.com/eserver/series/http))をご覧ください。
- TCP/IPサーバーの開始(STRTCP)コマンドのHTTPSVRパラメーターで「インスタンス始動値」として指定された値は、他のどこで指定された値よりも優先されます。

この変更が有効になるのは、TCP/IP開始(STRTCP)コマンドまたはTCP/IPサーバー開始(STRTCP)コマンドによって、HTTPサーバーを次に開始した時点です。

制約事項

- このコマンドを使用するには入出力システム構成(*IOSYSCFG)特殊権限が必要です。

上

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	ノート
AUTOSTART	自動開始	*YES, *NO, <u>*SAME</u>	オプション
NBRSVR	サーバー・スレッドの数	要素リスト	オプション
	要素 1: 最小	1-9999, <u>*SAME</u> , *DFT	
	要素 2: 最大	1-9999, <u>*SAME</u> , *DFT, *NOMAX	
CCSID	コード化文字セット識別コード	1-65533, <u>*SAME</u> , *DFT	オプション
TBLHTTPOUT	SERVERマッピング・テーブル	単一値: <u>*SAME</u> , *CCSID, *DFT その他の値: 要素リスト	オプション
	要素 1: EBCDIC/ASCIIテーブルの発信	修飾オブジェクト名	
	修飾子 1: EBCDIC/ASCIIテーブルの発信	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*LIBL</u> , *CURLIB	
TBLHTTPIN		単一値: <u>*SAME</u> , *CCSID, *DFT その他の値: 要素リスト	オプション
	要素 1: ASCII/EBCDIC TABLEの受信	修飾オブジェクト名	
	修飾子 1: ASCII/EBCDIC TABLEの受信	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*LIBL</u> , *CURLIB	

自動開始 (AUTOSTART)

STRTCPコマンドによってTCP/IPが開始された時に、HTTPサーバーを自動的に開始するかどうかを指定します。STRTCPSVRコマンドによってHTTPが開始されると、AUTOSTARTパラメーターは無視されて、このパラメーターの値とは関係なく、HTTPサーバーが開始されます。STRTCPSVR *HTTPが指定されて、HTTPサーバーがすでに実行中の場合には、開始要求は拒否されます。

*SAME

AUTOSTART値がすでに設定されている場合には、その値は変更されません。そうでない場合には、*NOが使用されます。

***NO** STRTCPコマンドが出された時にHTTPサーバーを開始しません。HTTPを使用する予定がない場合には、このパラメーターを*NOに設定してください。

***YES** STRTCPコマンドが出された時にHTTPサーバーを開始します。

サーバー・スレッドの数 (NBRSVR)

TCP/IP開始(STRTCP)コマンドまたはTCP/IPサーバー開始(STRTCPSVR)コマンドのいずれかによって、HTTPを開始した時に、開始するHTTPサーバー・スレッドの最小数および最大数を指定します。

注: サーバー・スレッドの最小数に指定された値は無視されます。この値は互換性の理由でコマンドに残されています。

サーバー・スレッドの最大数の値は、HTTPサーバーのTHREADSPERCHILDディレクティブの省略時の設定値として使用されます。この値は、THREADSPERCHILD構成ディレクティブが指定されていないすべてのHTTPサーバーに影響します。HTTPサーバー構成ファイルで指定されたか、あるいは始動値として指定されたTHREADSPERCHILDディレクティブは、このサーバー属性を指定変更します。

サーバー・スレッドの最大数の詳細については、THREADSPERCHILDディレクティブに関するHTTPサーバーの文書を参照してください。

要素1: 最小

*SAME

前に設定されたサーバー・スレッドの最小数は変更されません。そうでない場合には、10が使用されます。

***DFT** サーバー・スレッドの最小数は、省略時の値の10に設定されます。

1-9999 開始するように要求するサーバー・スレッドの最小数を指定します。

要素2: 最大

*SAME

前に設定されたサーバー・スレッドの最大数は変更されません。そうでない場合には、40が使用されます。

***NOMAX**

開始できるサーバー・スレッドの最大数には制限はありません。

***DFT** サーバー・スレッドの最大数は、省略時の値の40に設定されます。このパラメーターに省略時の値を使用した場合には、サーバー・スレッドの最小数を40より大きく指定することはできません。

I-9999 開始できるサーバー・スレッドの最大数を指定します。この値は、このパラメーターの最初の要素に指定した値より大きくなければなりません。

上

コード化文字セット識別コード (CCSID)

WORLD WIDE WEB (WWW)ブラウザからのMIME見出しで文字セットおよびコード・ページが識別されない場合には、この値を使用して、ASCIIからEBCDICへのマッピングおよびEBCDICからASCIIへのマッピングの実行時の変換で使用するASCIIコード化文字セット識別コード(CCSID)を判別します。マッピングは、MIME見出し値、またはジョブに指定されたASCII CCSIDおよびEBCDICの省略時のCCSIDを使用して判別されます。

発信および着信のマッピングは、TBLHTTPOUTおよびTBLHTTPINパラメーターに定義されたマッピング・テーブルによって任意に実行することができます。通常、TBLHTTPOUTおよびTBLHTTPINパラメーターは、*CCSIDまたは*DFTの省略時の値に設定され、この両方は、CCSIDパラメーターで使用される値がマッピングで使用されることを示します。

発信マッピングにマッピング・テーブルを使用する場合には、そのテーブル・オブジェクトをTBLHTTPOUTパラメーターに指定することができます。その後の発信マッピングでは、このテーブル・オブジェクトをCCSIDの値の代わりに使用します。

テーブル・オブジェクトをTBLHTTPINパラメーターに指定することによって、同じ方法でマッピング・テーブルを使用するために、発信マッピングを変更することができます。このマッピング・テーブルは指定されたCCSIDを無効にして、着信マッピングで使用されます。

***SAME**

前に設定されたCCSID値は変更されません。そうでない場合には、00819 (ISO 8859-1 8ビットASCII)が使用されます。

***DFT** CCSID値は00819 (ISO 8859-1 8ビットASCII)です。

I-65533

使用するCCSIDを指定してください。有効なASCII CCSIDが要求されたことを確認するために、この値が検査されます。

上

SERVERマッピング・テーブル (TBLHTTPOUT)

HTTPのすべての発信サーバー・データをマップするために使用するテーブル・オブジェクトを指定します。発信サーバー・データはEBCDICからASCIIにマップされます。

TBLHTTPOUTパラメーターにテーブル・オブジェクトを指定した場合には、そのテーブル・オブジェクトが発信マッピングで使用されます。そうでない場合には、発信マッピングを判別するために、CCSIDパラメーターが使用されます。

単一値

***SAME**

TBLHTTPOUT値が前に設定された場合には、それは変更されません。そうでない場合には、*CCSIDが使用されます。

***CCSID**

発信マッピングを判別するために、CCSIDパラメーターが使用されます。

***DFT** 発信マッピングを判別するために、CCSIDパラメーターが使用されます。

修飾子1: EBCDIC/ASCIIテーブルの発信

名前 発信HTTPサーバー・データのマッピングに使用されるテーブル・オブジェクトの名前を指定します。

修飾子2: ライブラリー

***LIBL** 最初的一致が見つかるまで、ジョブのライブラリー・リストのすべてのライブラリーが検索されます。

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーが検索されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーが指定されていない場合には、QGPLライブラリーが使用されます。

名前 検索されるライブラリーの名前を指定します。

上

ライブラリー (TBLHTTPIN)

HTTPのすべての着信サーバー・データをマップするために使用するテーブル・オブジェクトを指定します。着信サーバー・データはASCIIからEBCDICにマップされます。

TBLHTTPINパラメーターにテーブル・オブジェクトを指定した場合には、そのテーブル・オブジェクトが着信マッピングで使用されます。そうでない場合には、着信マッピングを判別するために、CCSIDパラメーターが使用されます。

単一値

***SAME**

TBLHTTPIN値が前に設定された場合には、それは変更されません。そうでない場合には、*CCSIDが使用されます。

***CCSID**

着信マッピングを判別するために、CCSIDパラメーターが使用されます。

***DFT** 着信マッピングを判別するために、CCSIDパラメーターが使用されます。

修飾子1: ASCII/EBCDIC TABLEの受信

名前 着信HTTPサーバー・データのマッピングに使用されるテーブル・オブジェクトの名前を指定します。

修飾子2: ライブラリー

***LIBL** 最初的一致が見つかるまで、ジョブのライブラリー・リストのすべてのライブラリーが検索されます。

*CURLIB

ジョブの現行ライブラリーが検索されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーが指定されていない場合には、QGPLライブラリーが使用されます。

名前 検索されるライブラリーの名前を指定します。

上

例

例1: HTTP属性を「TCP/IP (STRTCP) CLコマンドの使用時にサーバーを自動開始」に変更します。

```
CHGHTTPA  AUTOSTART(*YES)
```

このコマンドは、次にSTRTCPコマンドを使用するとサーバーが自動的に開始されることを示します。AUTOSTARTを指定変更しない限り、サーバー・インスタンスは自動開始されることとなります。

例2:サーバー・スレッドの最大数を変更します。

```
CHGHTTPA  NBRSVR(10 50)
```

このコマンドは、着信HTTP要求を処理するために、最大50のサーバー・スレッドを開始できることを示します。サーバー・スレッドの最小数は指定できますが、無視されることに注意してください。

例3:サーバー・マッピング・テーブルの使用

```
CHGHTTPA  TBLHTTPOUT(*LIBL/TSTHTTPO)
          TBLHTTPI(*LIBL/TSTHTTPI)
```

このコマンドは、次回サーバーを開始した時にサーバーが次の特性をもつことを指示します。

- ASCII-EBCDICおよびEBCDIC-ASCII変換が、CCSID値ではなく、発信および着信マッピング・テーブルを使用して実行されます。
- サーバーは、HTTPの発信データをマッピングするために、TSTHTTPOテーブル・オブジェクトにある情報のコピーを使用します。このテーブル・オブジェクトは、スレッドのライブラリー・リストを使用して検索されます。
- サーバーは、HTTPの着信データをマッピングするために、TSTHTTPIテーブル・オブジェクトにある情報のコピーを使用します。このテーブル・オブジェクトは、スレッドのライブラリー・リストを使用して検索されます。

上

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

TCP8050

&1を使用するには*IOSYSCFG権限が必要である。

上

HTTPクローラーの終了 (ENDHTTPCRL)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

HTTPクローラー終了(ENDHTTPCRL)コマンドによって、指定した文書リストのクローラー・セッションを終了するか、あるいは一時停止できます。

上

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	ノート
DOCLIST	文書リスト・ファイル	パス名	必須, 定位置 1
ACTION	移動アクション	*PAUSE, *END	オプション

上

文書リスト・ファイル (DOCLIST)

活動状態または休止されたクローラー・セッションに使用された文書リスト・ファイルを指定します。

これは必須パラメーターです。

パス名 文書リスト・ファイルのパス名を指定します。

上

移動アクション (ACTION)

文書リストで識別されている活動状態のクローラー・セッションで実行する処置を指定します。

***END** クローラー・セッションを終了します。

***PAUSE**

クローラー・セッションを一時停止または一時的に中断します。休止されたセッションは、HTTPクローラー再開(RSMHTTPCRL)コマンドを実行することによって再開できます。

上

例

例1:クローラー・セッションの終了

```
ENDHTTPCRL
DOCLIST('/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.DOCUMENT.LIST')
ACTION(*END)
```

このコマンドは、ディレクトリー・パス/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEXにある文書リスト・ファイルMYINDEX.DOCUMENT.LISTを使用して直前に開始されたクロール・セッションを終了します。

例2:クロール・セッションの終了

```
ENDHTTPCRL
  DOCLIST('/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.DOCUMENT.LIST')
  ACTION(*PAUSE)
```

このコマンドは、直前に開始されたクロール・セッションを休止します。このクロール・セッションは、HTTPクローラー再開(RSMHTTPCRL)コマンドを実行し、同じ文書リスト・ファイルを指定することによって再開できます。

上

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

HTP165E

移動セッションの休止または終了要求が失敗した。理由は、&1です。

上

HTTPクローラーの再開 (RSMHTTPCRL)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

HTTPクローラー再開(RSMHTTPCRL)コマンドによって、指定した文書リストのクローラー・セッションを再開できます。直前のセッションは、ACTION(*PAUSE)を指定したHTTPクローラー終了(ENDHTTPCRL)コマンドを実行することによって休止されていなければなりません。

上

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
DOCLIST	文書リスト・ファイル	パス名	必須, 定位置 1

上

文書リスト・ファイル (DOCLIST)

休止されたクローラー・セッションに使用された文書リスト・ファイルを指定します。

これは必須パラメーターです。

パス名 文書リスト・ファイルのパス名を指定します。

上

例

```
RSMHTTPCRL  
DOCLIST('/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/MYINDEX.DOCUMENT.LIST')
```

このコマンドは、ACTION(*PAUSE)を指定したHTTPクローラー終了(ENDHTTPCRL)コマンドを実行することによって休止されたクローラー・セッションを再開します。

上

エラー・メッセージ

***ESCAPE** メッセージ

HTP165D

移動セッションの再開要求が失敗した。理由は、&1です。

HTTPクローラーの開始 (STRHTTPCRL)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

HTTPクローラー開始(STRTHTTPCRL)コマンドによって、リモートWEBサイトをクローリングし、見つかったファイルをダウンロードして、パス名を指定された文書リストに保管することによって文書リストを作成または追加できます。

文書リストを作成するには、オプション (OPTION)パラメーターに*CRTDOCLを指定してください。

文書リストを更新するには、*UPDDOCLをOPTIONパラメーターに指定してください。

上

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
OPTION	オプション	*CRTDOCL, *UPDDOCL	必須, 定位置 1
METHOD	移動方式	*OBJECTS, *DETAIL	オプション
OBJECTS	URLとオプション・オブジェクト	要素リスト	オプション
	要素 1: URLオブジェクト	文字値	
	要素 2: オプション・オブジェクト	文字値	
DOCLIST	文書リスト・ファイル	パス名	オプション
DOCDIR	文書記憶域ディレクトリー	パス名, 'QIBM/USERDATA/HTTPSVC/INDEX/DOC'	オプション
LANG	文書の言語	*ARABIC, *BALTIC, *CENTEUROPE, *CYRILLIC, *ESTONIAN, *GREEK, *HEBREW, *JAPANESE, *KOREAN, *SIMPCHINESE, *TRADCHINESE, *THAI, *TURKISH, *WESTERN	オプション
URL	URL	文字値	オプション
URLFTR	URLフィルター	文字値, *NONE	オプション
MAXDEPTH	最大クローリングの深さ	0-100, 3, *NOMAX	オプション
ENBROBOT	使用可能ロボット	*YES, *NO	オプション
PRXSVC	HTTPのプロキシ・サーバー	文字値, *NONE	オプション
PRXPORT	HTTPのプロキシ・ポート	1-65535	オプション
PRXSVCSSL	HTTPSのプロキシ・サーバー	文字値, *NONE	オプション
PRXPORTSSL	HTTPSのプロキシ・ポート	1-65535	オプション
MAXSIZE	最大ファイル・サイズ	1-6000, 1000	オプション
MAXSTGSIZE	最大ストレージ・サイズ	1-65535, 100, *NOMAX	オプション
MAXTHD	最大スレッド数	1-50, 20	オプション

キーワード	記述	選択項目	ノーツ
MAXRUNTIME	最大実行時間	単一値: *NOMAX その他の値: 要素リスト	オプション
	要素 1: 時間	0-1000, <u>2</u>	
	要素 2: 分	0-59, <u>0</u>	
LOGFILE	ログ・ファイル	パス名, * <u>NONE</u>	オプション
CLRLOG	ログ・ファイルの消去	* <u>YES</u> , *NO	オプション
VLDL	妥当性検査リスト	名前, * <u>NONE</u>	オプション

上

オプション (OPTION)

実行する文書リスト・タスクを指定します。

これは必須パラメーターです。

*CRTDOCL

文書リストを作成します。ファイルがすでに存在している場合には、それが置き換えられます。

*UPDDOCL

追加文書パスを文書リストに付加します。

上

移動方式 (METHOD)

使用するクロール方式を指定します。

*DETAIL

文書記憶域ディレクトリー、URL、およびURLフィルターなど、リモートWEBサイトをクロールするために固有の値を使用します。これらは、URLオブジェクトおよびオプション・オブジェクトに入っているのと同じ値です。

*OBJECTS

WEBサイトをクロールするためにURLオブジェクトおよびオプション・オブジェクトを使用します。これらのオブジェクトには、クロール・プロセスで使用される特定の値が入ります。

上

URLとオプション・オブジェクト (OBJECTS)

クロールに使用するオブジェクトを指定します。両方とも指定されていなければなりません。オブジェクトを作成するには、HTTP検索構成(CFGHTTPSCH)コマンドを使用してください。

要素1: URLオブジェクト

文字値 使用するURLオブジェクトの名前を指定します。

要素2: オプション・オブジェクト

文字値 使用するオプション・オブジェクトの名前を指定します。

文書リスト・ファイル (DOCLIST)

リモートWEBサイトをクローリングすることによって見つかった文書のパス名を入れる文書リスト・ファイルを指定します。

パス名 文書リスト・ファイルのパス名を指定します。

上

文書記憶域ディレクトリー (DOCDIR)

ダウンロードした文書の保管に使用するディレクトリーを指定します。

'/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/DOC'

このディレクトリーはダウンロードした文書を保管するために使用されます。

パス名 文書保管ディレクトリーのパス名を指定します。

上

文書の言語 (LANG)

ダウンロードする文書の言語を指定します。これらの言語選択は、ブラウザーで選択できる文字セットまたはエンコードに似ています。

*WESTERN

文書は西ヨーロッパ言語（英語、フィンランド語、フランス語、スペイン語、またはドイツ語など）になっています。

*ARABIC

文書はアラビア語になっています。

*BALTIC

文書はバルト語（ラトビア語またはリトアニア語など）になっています。

*CENTEUROPE

文書は中央ヨーロッパ言語（チェコ語、ハンガリー語、ポーランド語、スロバキア語、またはスロベニア語など）になっています。

*CYRILLIC

文書はキリル文字言語（ロシア語、ウクライナ語、またはマケドニア語など）になっています。

*ESTONIAN

文書はエストニア語になっています。

*GREEK

文書はギリシャ語になっています。

*HEBREW

文書はヘブライ語になっています。

*JAPANESE

文書は日本語になっています。

***KOREAN**

文書は韓国語になっています。

***SIMPCHINESE**

文書は中国語（簡体字）になっています。

***TRADCHINESE**

文書は中国語（繁体字）になっています。

***THAI**

文書はタイ語になっています。

***TURKISH**

文書はトルコ語になっています。

上

URL (URL)

クロールするURL (UNIVERSAL RESOURCE LOCATOR)の名前を指定します。

文字値 クロールするURLを指定します。

上

URLフィルター (URLFTR)

クロールするサイトを指定したドメイン内のサイトに制限するドメイン・フィルター。

***NONE**

ドメインに関連するフィルター操作は行われません。

文字値 クロールを制限するドメイン・フィルターを指定してください。

上

最大クロールの深さ (MAXDEPTH)

開始URLからクロールする最大の深さ。ゼロは開始URLサイトでクロールを停止するという意味です。各追加レイヤーは現行URL内で次に参照するリンクを指しています。

3 参照するリンクは3層の深さでクロールされます。

***NOMAX**

参照するリンクは深さに関係なくクロールされます。

0-100 最大のクロールの深さを指定してください。

上

使用可能ロボット (ENBROBOT)

ロボット除外のサポートを使用可能かどうかを指定します。ロボット除外をサポートするように選択した場合には、ロボット除外METAタグまたはファイルが含まれているサイトまたはページはダウンロードされません。

***YES** ロボット除外のサポートを使用可能にします。

***NO** ロボット除外のサポートを使用可能にしません。

上

HTTPのプロキシ・サーバー (PRXSVR)

使用するHTTPプロキシ・サーバーを指定します。

***NONE**

HTTPプロキシ・サーバーを使用しません。

HTTPプロキシ・サーバー

HTTPプロキシ・サーバーの名前を指定します。

上

HTTPのプロキシ・ポート (PRXPORT)

HTTPプロキシ・サーバー・ポートを指定します。

1-65535.

HTTPプロキシ・サーバー・ポートの番号を指定します。**HTTPのプロキシ・サーバー (PRXSVR)**パラメーターにプロキシ・サーバー名を指定した場合には、このパラメーターは必須です。

上

HTTPSのプロキシ・サーバー (PRXSVRSSL)

SSLサポートを使用するためのHTTPSプロキシ・サーバーを指定します。

***NONE**

HTTPSプロキシ・サーバーを使用しません。

文字値 SSLサポート用のHTTPSプロキシ・サーバーの名前を指定します。

上

HTTPSのプロキシ・ポート (PRXPORTSSL)

SSLサポート用のHTTPSプロキシ・サーバー・ポートを指定します。

1-65535

SSLサポート用のHTTPSプロキシ・サーバー・ポートの番号を指定します。これが必須なのは、SSLプロキシ・サーバーも指定されている場合です。**HTTPSのプロキシ・サーバー (PRXSVRSSL)**パラメーターにプロキシ・サーバー名を指定した場合には、このパラメーターは必須です。

上

最大ファイル・サイズ (MAXSIZE)

ダウンロードするファイルの最大サイズをキロバイトで指定します。

1000 1000 Kバイト以下のダウンロード・ファイル。

***NOMAX**

サイズにかかわらずファイルがダウンロードされます。

1-6000.

ダウンロードする最大ファイル・サイズをKバイトで指定してください。

上

最大ストレージ・サイズ (MAXSTGSIZE)

ダウンロード・ファイル用に割り振る最大記憶域サイズをメガバイトで指定します。クロールは、この限界に達すると終了します。

100 100メガバイトまでの記憶域がダウンロード・ファイル用に使用されます。

***NOMAX**

ダウンロード・ファイル用の最大記憶域サイズはありません。

1-65535.

ダウンロード・ファイル用の最大記憶域サイズをメガバイトで指定してください。

上

最大スレッド数 (MAXTHD)

WEBサイトをクロールするために開始するスレッドの最大数を指定します。この値は、使用可能なシステム資源に基づいて設定してください。

20 WEBクロール用に20個までのスレッドを開始します。

1-50. 開始するスレッドの最大数を指定してください。

上

最大実行時間 (MAXRUNTIME)

クロールを実行する最大時間（時間数および分数）を指定します。

単一値

38 System i: プログラミング HTTP Server for i5/OS コマンド

***NOMAX**

クロール・セッションが正常に完了するか、あるいはENDHTTPCRL (HTTPクローラー終了) コマンドによって終了されるまでクロール・セッションを実行します。

要素1: 時間

2 クロール・セッションを2時間プラス指定した分数だけ実行します。

0-1000.

クロール・セッションを実行する時間数を指定してください。

要素2: 分

0 クロール・セッションを指定した時間だけ実行します。

***SAME**

この値は、オプション・オブジェクトを更新しても、同じ最大実行分数を使用したい場合に使用します。

0-59. クロール・セッションを実行する分数を指定してください。クロール・セッションは、このパラメーターの第1要素に指定した時間数プラス指定した分数だけ実行されます。

上

ログ・ファイル (LOGFILE)

使用する活動記録ログ・ファイルを指定します。このファイルには、クロール・セッションに関する情報と、クロール・セッション時に起こるエラーの情報が入ります。このファイルはディレクトリー中に存在していなければなりません。

***NONE**

活動記録ログ・ファイルを使用しません。

パス名 ログ・ファイルのパス名を指定します。

上

ログ・ファイルの消去 (CLRLOG)

クロール・セッションの開始前に、活動記録ログ・ファイルを消去するかどうかを指定します。

***YES** クロール・セッションの開始前に、活動記録ログ・ファイルを常に消去します。

***NO** 活動記録ログ・ファイルを消去しません。

上

妥当性検査リスト (VLDL)

SSLセッション用に使用する妥当性検査リストを指定します。妥当性検査リスト・オブジェクトを作成するには、HTTP検索構成(CFGHTTPSCH)コマンドを使用してください。

***NONE**

妥当性検査リスト・オブジェクトを使用しません。

名前 妥当性検査リストの名前を指定してください。

上

例

```
STRHTTPCRL OPTION(*CRTDOCL) DOCLIST('/MYDIR/MY.DOCLIST')  
URL('HTTP://WWW.IBM.COM') MAXDEPTH(2)
```

このコマンドは、開始URL WWW.IBM.COMから参照リンク2層を検索する新しいクロール・セッションを開始します。文書リストは、'/MYDIR/MY.DOCLIST'に作成され、ローカル・ディレクトリー・パス（たとえば'/QIBM/USERDATA/HTTPSVR/INDEX/DOC/WWW.IBM.COM/US/INDEX.HTML'）とページ 'HTTP://WWW.IBM.COM/US/'への実際のURLのセットを含むことになります。この文書リストを使用して索引を作成するには、HTTP検索構成(CFGHTTPSCH)コマンドを使用してください。

上

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

HTP160C

文書リストに作成または付加する要求が失敗しました。理由は、&1です。

HTP166E

文書リストの状況を印刷する要求が失敗しました。理由は、&1です。

上

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Software Interoperability Coordinator, Department YBWA
3605 Highway 52 N
Rochester, MN 55901
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、IBM 機械コードのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プログラミング・インターフェース情報

本書 (HTTP Server for i5/OS コマンド) には、プログラムを作成するユーザーが IBM HTTP Server for i5/OS のサービスを使用するためのプログラミング・インターフェースが記述されています。

商標

以下は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Advanced Function Printing
AFP
AS/400
CICS
COBOL/400
C/400
DataPropagator
DB2
Distributed Relational Database Architecture
Lotus Domino
DRDA
IBM
Infoprint
InfoWindow
i5/OS
iSeries
Integrated Language Environment
Lotus
LPDA
OfficeVision
Print Services Facility
RPG/400
System i
System x
SystemView
System/36
TCS
Tivoli
WebSphere
z/OS

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、および PostScript ロゴは、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

Intel、Intel (ロゴ)、Intel Inside、Intel Inside (ロゴ)、Intel Centrino、Intel Centrino (ロゴ)、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

コードに関するライセンス情報および特記事項

IBM は、お客様に、すべてのプログラム・コードのサンプルを使用することができる非独占的な著作使用権を許諾します。お客様は、このサンプル・コードから、お客様独自の特別のニーズに合わせた類似のプログラムを作成することができます。

強行法規で除外を禁止されている場合を除き、IBM、そのプログラム開発者、および供給者は「プログラム」および「プログラム」に対する技術的サポートがある場合にはその技術的サポートについて、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナーは、その予見の有無を問わず発生した以下のものについて賠償責任を負いません。

1. データの喪失、または損傷。
2. 直接損害、特別損害、付随的損害、間接損害、または経済上の結果的損害
3. 逸失した利益、ビジネス上の収益、あるいは節約すべかりし費用

国または地域によっては、法律の強行規定により、上記の責任の制限が適用されない場合があります。



Printed in Japan